

南丹市の環境に関するアンケート結果（概要）について

1 アンケート調査について

- 第2次南丹市環境基本計画策定にあたり、市民や事業者の環境に対する意識や行動、今後の方向性などを把握するため、アンケート調査を実施しました。
- アンケート調査の概要は次のとおりです。

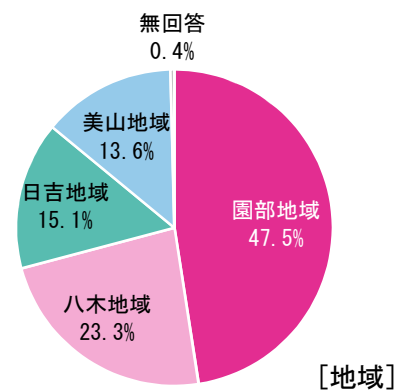
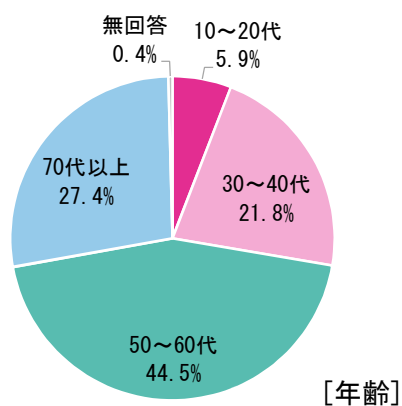
[アンケート調査概要]

対象者	市民 (18歳以上)	事業者	小中学生 (各1学年)
配布日	令和元年 11月18日 ~ 12月2日		※実施中
配布数	2,000	100	
回収数	734	58	
回収率	36.7%	58.0%	

2 市民アンケート調査の概要（速報値）

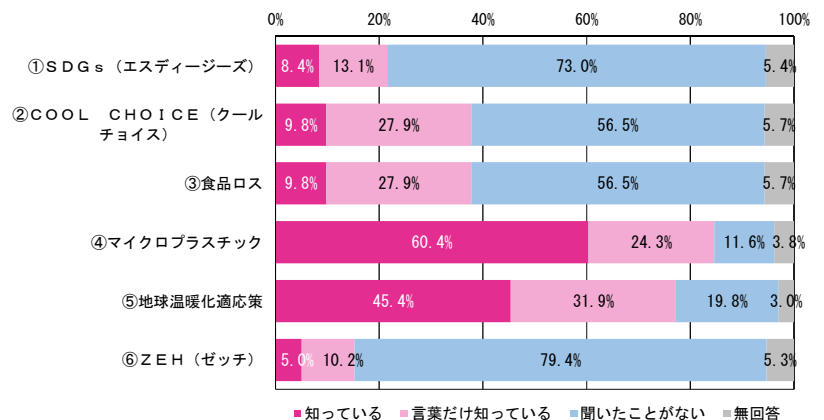
(1) フェイスシート

- 年齢層は、「50～60代」が最も高く44.5%、次いで「70代以上」が27.4%と高くなっています。
- お住まいの地域は、「園部地域」が最も高く47.5%、次いで「八木地域」が23.3%と高くなっています。



(2) 環境に関する言葉の認知度

- 「マイクロプラスチック」「地球温暖化適応策」については、「知っている」「言葉だけ知っている」の割合が半数を超えており、普及が進んでいると考えられます。
- その他の言葉の認知度はいずれも低くなっており、今後、普及啓発を進めていく必要があると考えられます。

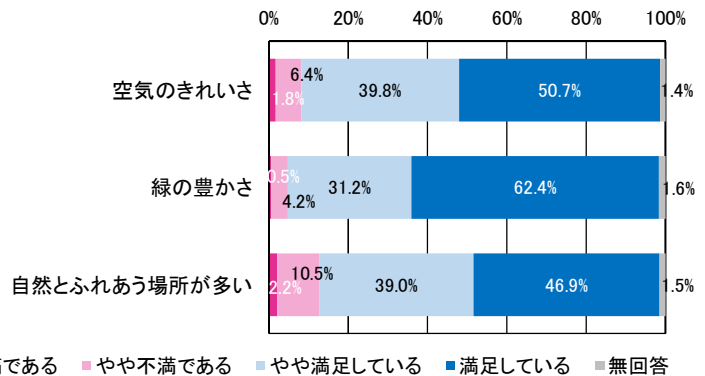


[環境に関する言葉の認知度]

(3) お住まいの地域の満足度（上位3位、下位3位）

<満足度が高い項目> ※「満足している」「やや満足している」の割合が高い項目

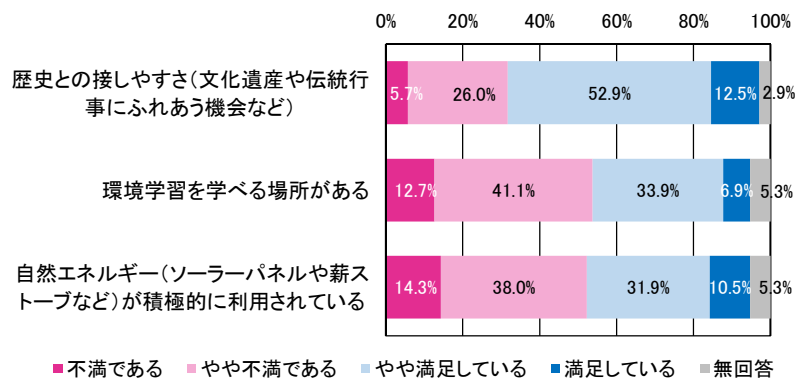
- 満足度が高い項目は、「緑の豊かさ」「空気のきれいさ」「自然とふれあう場所が多い」で、「満足している」「やや満足している」の割合が8割を超えています。



[満足度が高い項目]

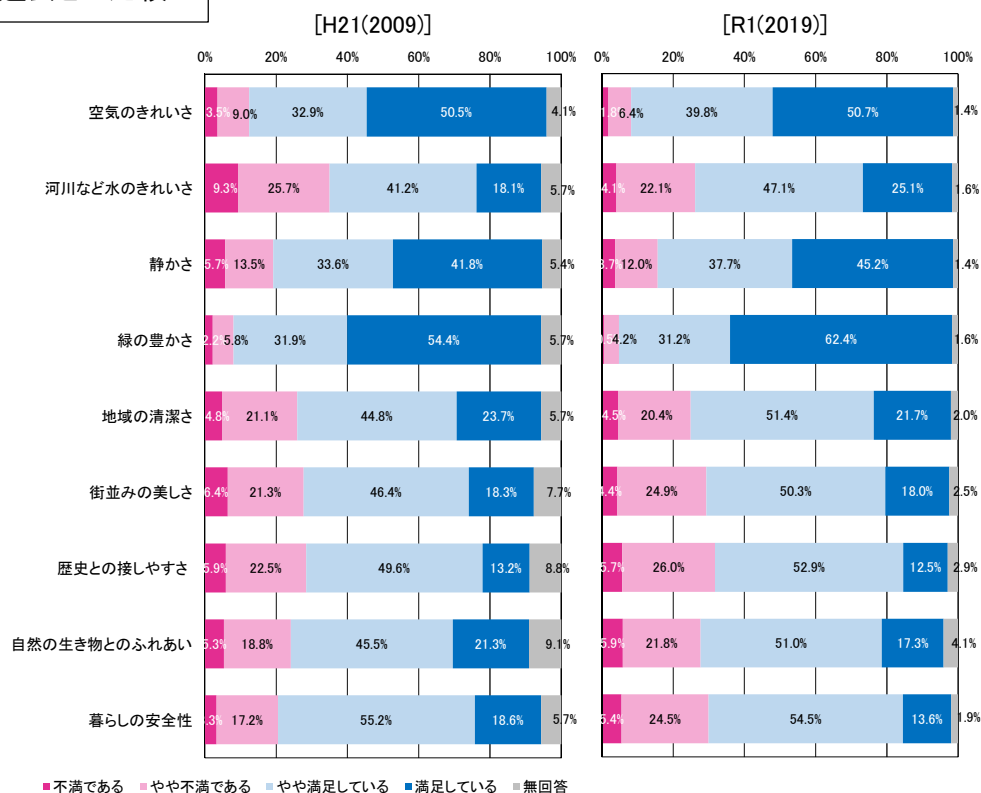
<満足度が低い項目> ※「不満である」「やや不満である」の割合が高い項目

- 満足度が低い項目は、「歴史との接しやすさ」「環境学習を学べる場所がある」「自然エネルギーが積極的に利用されている」で、「不満である」「やや不満である」の割合が3割を超えています。



[満足度が低い項目]

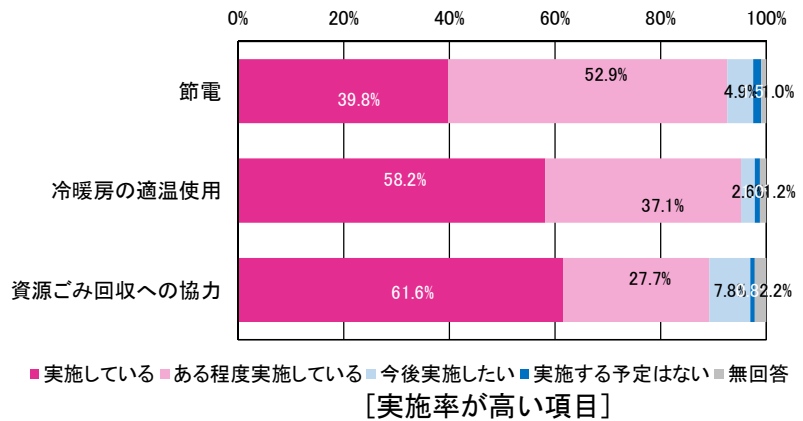
(参考)過去との比較



(4) 環境に関する行動の実施状況 (上位3位、下位3位)

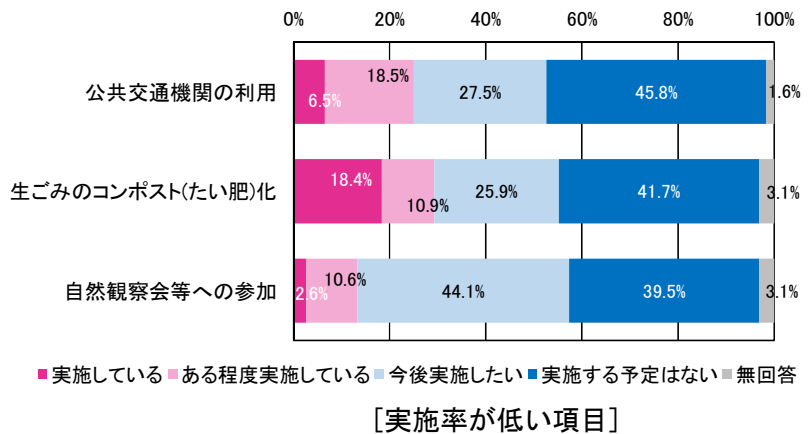
<実施率が高い項目> ※「実施している」「ある程度実施している」の割合が高い項目

- ・実施率が高い項目は、「節電」「冷暖房の適温使用」「資源ごみ回収への協力」で、「実施している」「ある程度実施している」の割合が8割を超えています。
- ・節電に関する取組や資源回収などの取組は普及が進んでいると考えられます。

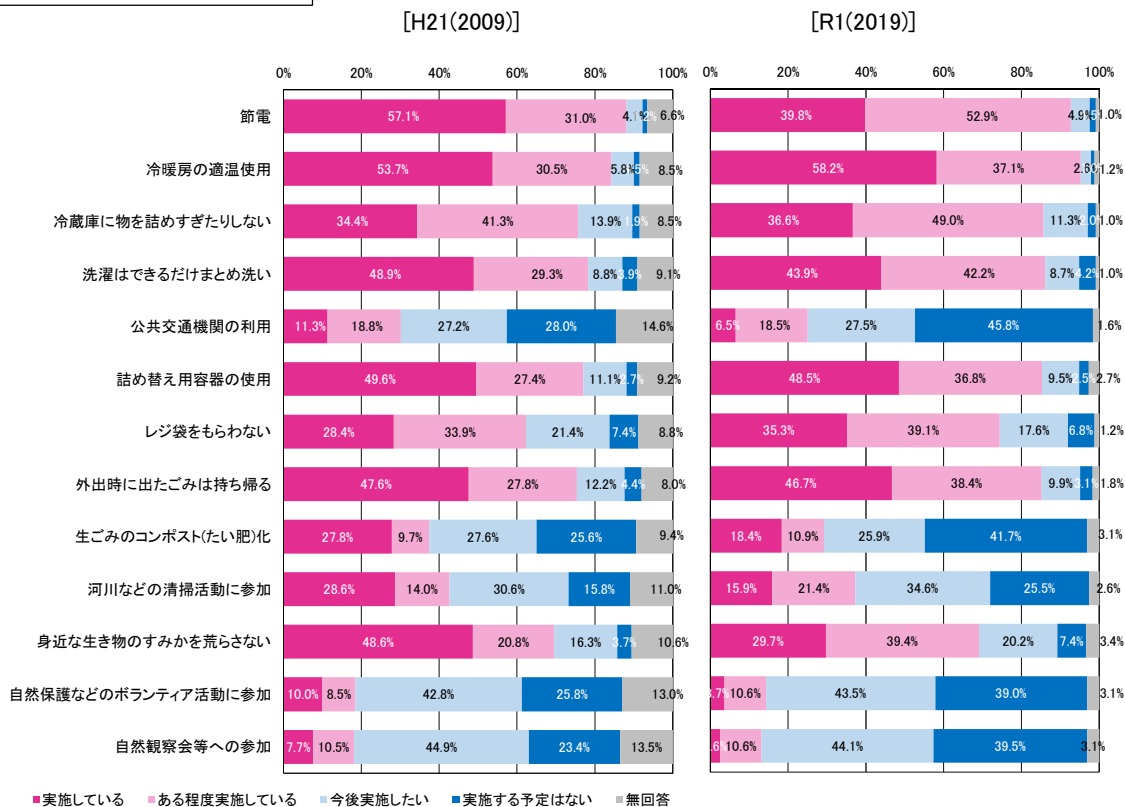


<実施率が低い項目> ※「実施する予定はない」の割合が高い項目

- ・実施率が低い項目は、「公共交通機関の利用」「生ごみのコンポスト化」「自然観察会等への参加」で、「実施する予定はない」の割合が約4割となっています。

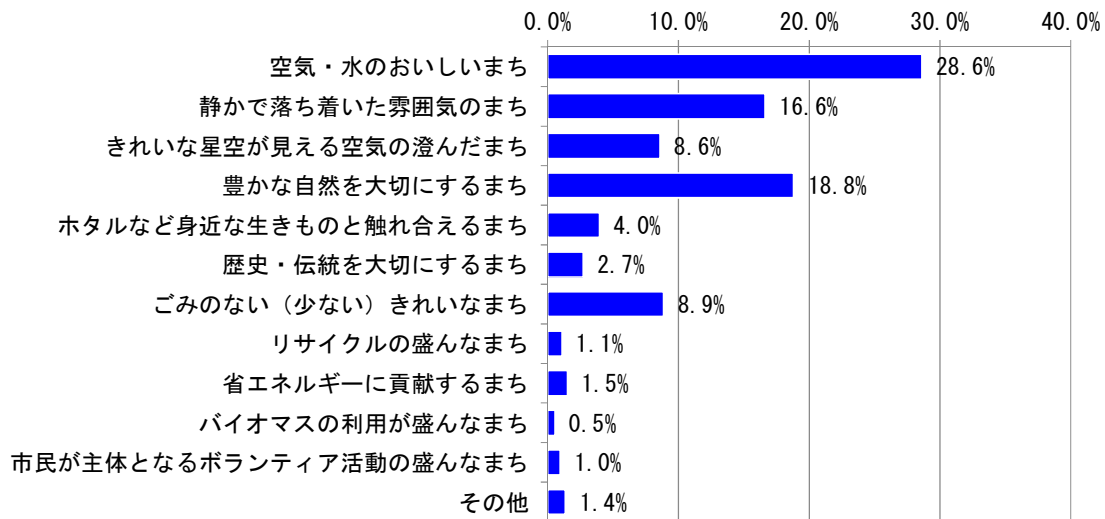


(参考) 過去との比較



(5) 南丹市の将来の環境イメージ

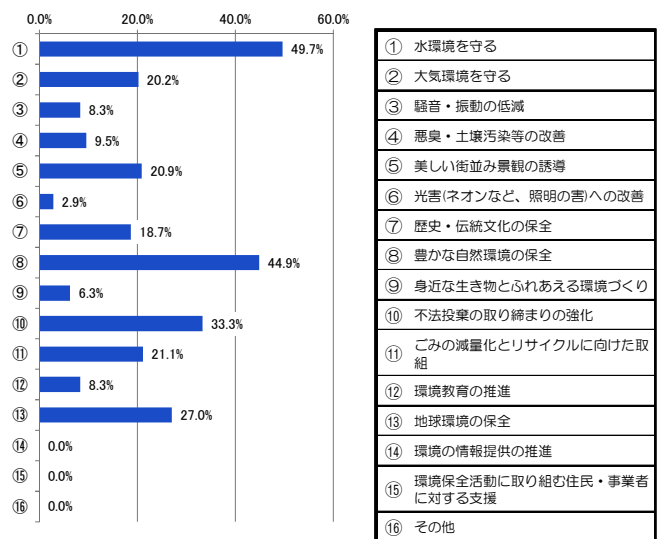
- 南丹市の将来の環境イメージとしては、「空気・水のおいしいまち」が最も高く 28.6%、次いで「豊かな自然を大切にすまち」が 18.8%と高くなっています。



[将来の環境イメージ]

(6) 今後重点的に進めてほしい施策

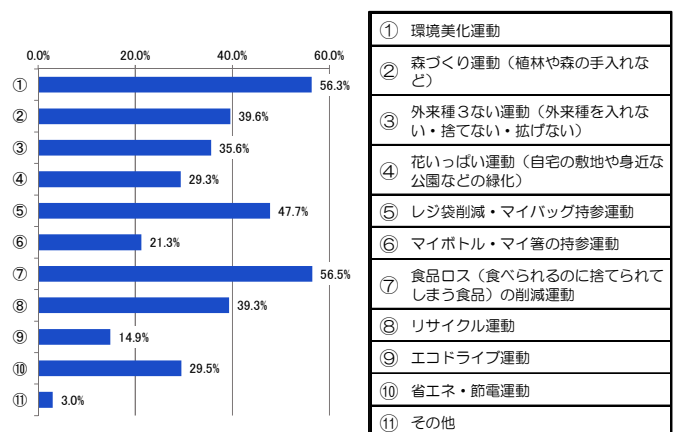
- 今後重点的に進めてほしい施策としては、「①水環境を守る」が最も高く 49.7%、次いで「⑧豊かな自然環境の保全」が 44.9%と高くなっています。



[重点的に進めてほしい施策]

(7) 市民が主体となって進めていくことが望ましい取組

- 市民が主体となって進めていくことが望ましい取組としては、「⑦食品ロスの削減運動」が最も高く 56.5%、次いで「①環境美化運動」が 56.3%と高くなっています。

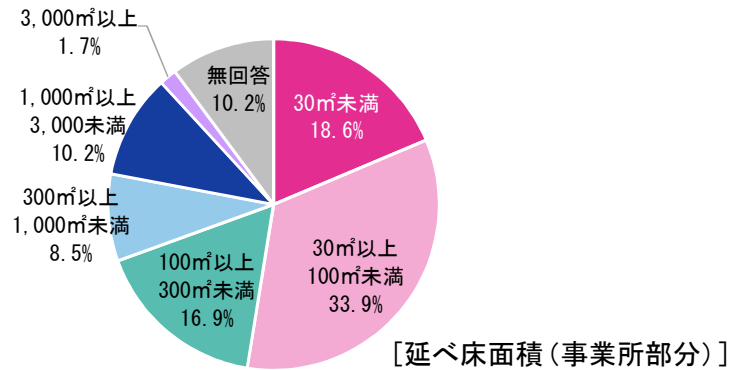
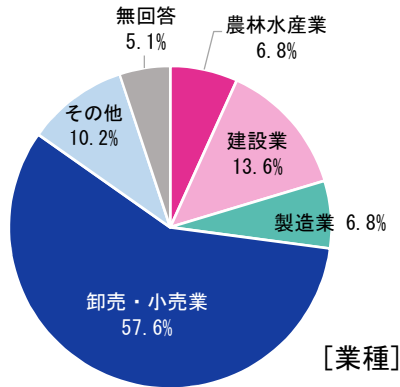


[市民が主体となって進めていくことが望ましい取組]

3 事業者アンケート調査の概要（速報値）

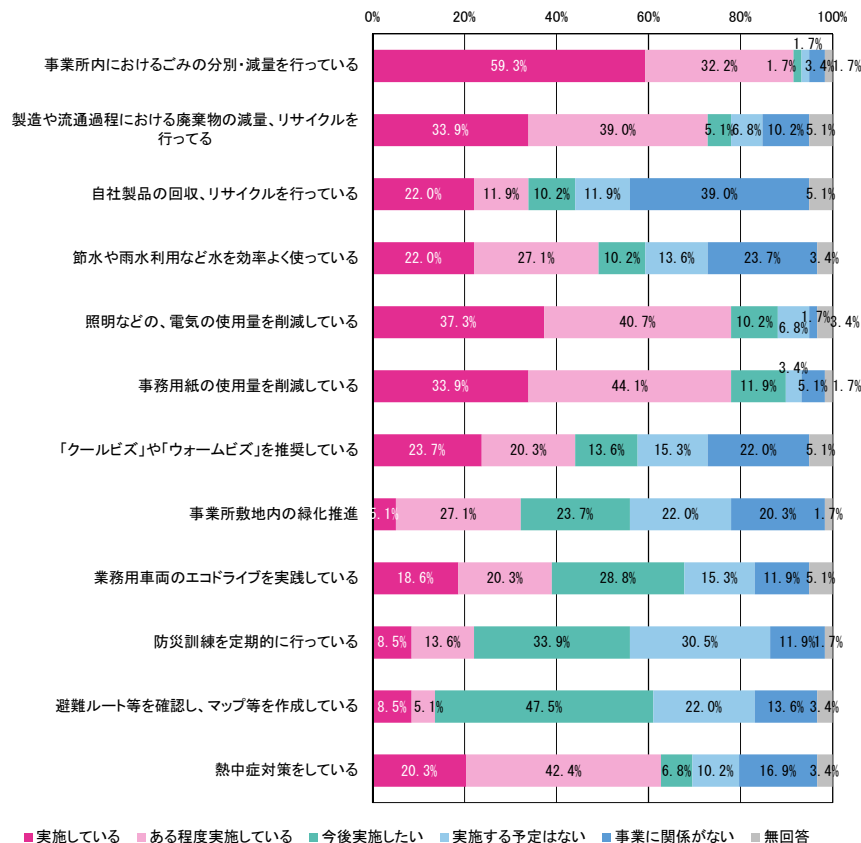
(1) フェイスシート

- 業種は、「卸売・小売業」が最も高く 57.6%、次いで「建設業」が 13.6%と高くなっています。
- 延べ床面積は、「30～100m² 未満」が最も高く 33.9%、次いで「30m² 未満」が 18.6%と高くなっています。



(2) 環境に配慮した取組の実施状況

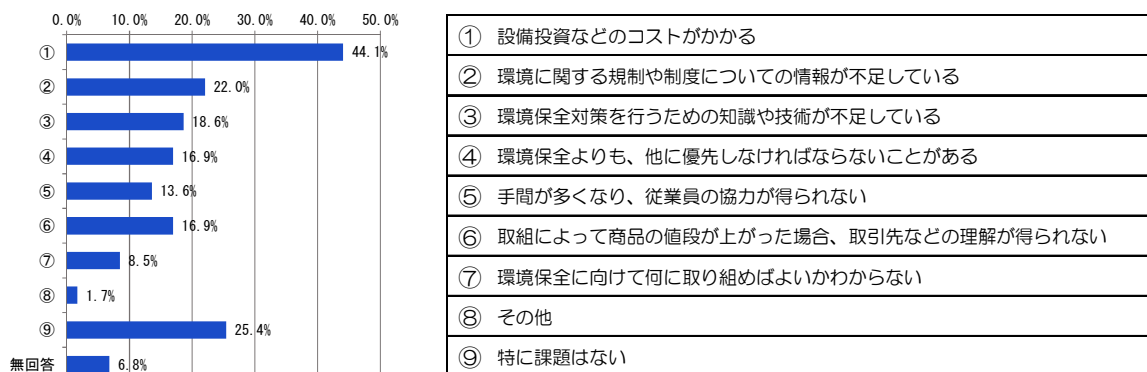
- 「実施している」「ある程度実施している」の割合が最も高かった取組は、「事業所内におけるごみの分別・減量を行っている」で、ほとんどの事業所が行っています。次いで「照明などの、電気の使用量を削減している」「事務用紙の使用量を削減している」がそれぞれ約8割と高くなっています。
- 一方、「実施する予定はない」の割合が高かった取組は、「防災訓練を定期的に行っている」で約 30.5%、次いで「事業敷地内の緑化推進」「避難ルート等を確認し、マップ等を作成している」がそれぞれ 22%と高くなっています。



[環境に配慮した取組の実施状況]

(3) 環境保全に取り組む上での課題や問題

- 環境保全に取り組む上での課題や問題は、「①設備投資などのコストがかかる」が約44.1%と最も高く、次いで「②環境に関する規制や制度についての情報が不足している」が22.0%と高くなっています。

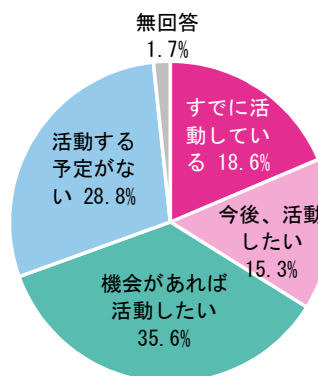


[環境保全に取り組む上での課題や問題]

(4) ほかの団体等と連携した環境保全活動の実施状況

<環境保全活動の実施状況>

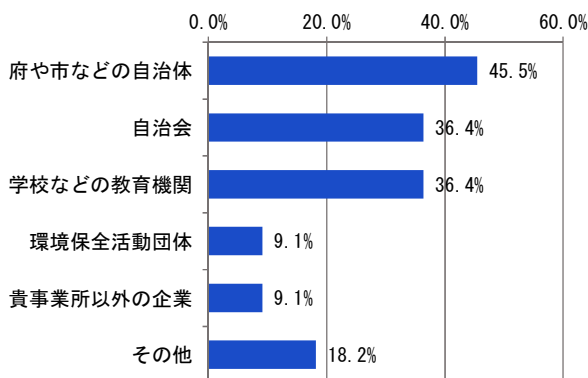
- ほかの団体等と連携した環境保全活動の実施状況について、「すでに活動している」は18.6%となっています。
- 「今後活動したい」「機会があれば活動したい」は全体の約半数を占めており、他団体と連携した活動に対する意欲が高いことがうかがえます。



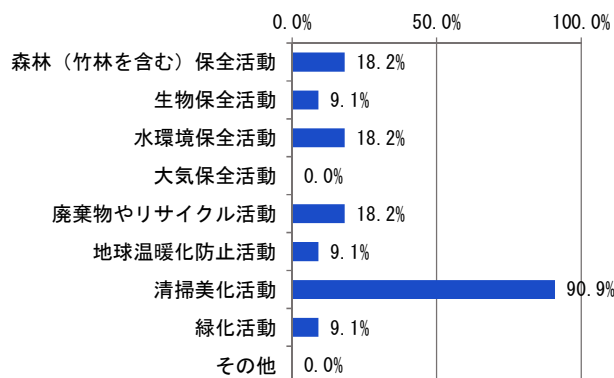
[連携した環境保全活動の実施状況]

<連携している団体と活動内容>

- 連携している団体は、「府や市などの自治体」が最も高く45.5%で、次いで「自治会」「学校などの教育機関」がそれぞれ36.4%と高くなっています。
- 活動内容の大半は「清掃美化活動」となっています。



[連携している団体]



[活動内容]